

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

1回戦																
高知県選抜	10	<table border="1"> <tr><td>3</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>3</td></tr> </table>	3	—	2	3	—	2	2	—	5	2	—	3	12	大阪選抜
3	—	2														
3	—	2														
2	—	5														
2	—	3														
	審判:	PSO														
		森林 和三														
		縄井 裕平														

高知県選抜	23	SH数	18	大阪選抜
	2	速攻数	7	
	7	ST・SB	10	
	3	SH・P誘発アシスト	9	
	14%	GK阻止率	38%	
	6	EX反則数	9	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

前回大会ではローリー兄を擁して東京に逆転勝ちして上位進出を果たし、その勢いで夏の地元開催インターハイで高知県勢初の第3位を獲得するなど、長年の育成強化がようやく実を結びつつある高知。対する大阪は中学生主体でありながら、近畿ブロックを勝ち上がってきた勢いをどこまで発揮できるか。

【1P】

高知の攻撃ミスを突いて大阪⑨三矢が先制したが、高知も退水誘発プレーから④北岡がすぐさま追いつく展開。さらに高知が退水を奪ってからのシュートこぼれ球を⑥村田が押し込んで逆転。しかし大阪も②仁木が取り返して同点。高知はピリオド終盤に④北岡が決めて高知3-2大阪で第1ピリオド終了。両チームともにややディフェンス面で甘さのある試合序盤の展開となった。

【2P】

高知②岡村が中央から決めて高知が4点をゲット。その後は双方に攻撃時のミスが続いてラリーの応酬。高知のオフェンス反則を機に大阪⑨三矢が攻めて1点を返すが、すかさず高知が突き放し、さらに④北岡がこの試合3点目を決めて3点差に広げた。ピリオド終盤に大阪は退水攻撃のチャンスにタイムアウト。勝負をかけてきた。そこを③高橋が決めて再び2点差に。高知6-4大阪で前半を折り返した。

【3P】

高知のパスミスに乗じて大阪②仁木が速攻SHを決めて1点差に迫る。しかし、高知⑧別府がハーフからのミドルSHを決めて突き放す。大阪もゴール前で前に入った②仁木がペナルティを誘発して自身で決めてまた1点差に。さらに高知の退水攻撃を防いでからの②仁木が速攻で飛び出し、再びペナルティを誘発し、ここで同点シュートを決めて追いついた。ここでも高知⑧別府が6mSHを決めて突き放したが、またしても大阪②仁木がペナルティを誘発して追いつくという展開。高知の攻撃が徐々につながらなくなったところで大阪側の速攻。③高橋が決めて今度は大阪が1点リードして第3ピリオド終了。高知は攻撃時に詰めがなくなり、セットが広がってしまう展開が大阪側に狙われてしまったピリオドであった。

【4P】

勝負の最終ピリオド、先手を取ったのは高知。大阪のセンター②仁木の攻撃をブレイクしてから右サイドを泳いだ⑥村田が決めて同点に追いつく。しかし大阪は直後に高知ゴール前で退水を誘発し、トップ位置から③高橋が決めて1点リード。焦る高知は攻撃時のミスから退水し、大阪は勝負のタイムアウト。残り時間は2分を切ったのタイミング。この攻撃がやや強引すぎて失敗し、逆に高知に退水を奪われ、高知が勝負のタイムアウト。緊迫する攻防が続き、退水シュートのこぼれ球で大阪側がペナルティ。ここを④北岡が決めて同点に。しかし直後のセット攻撃で右サイドからのパスを受けた左サイド③高橋が渾身のシュートを決めて大阪リード。最後はセンター②仁木が決めて高知10-12大阪で、大阪が逆転勝ち。